

ブリコラ辞苑

- 【あたえみずき】 砂漠に生きている木。桶状な茎があつて、貴重な雨水を集める。
- 【あにいさしん】 干物から採れるミネラル成分。
- 【あひとしよに】 新種のキノコから検出された、幻覚作用のある化学物質。
- 【あへかぼ】 あへ？つてなるようなわかんなかったことがカポッと腑に落ちたという意の略語。
- 【あめえぢぐ】 原宿にあるキャンディショップ。
- 【あわててい】 100円ショップとかにありそうな安っぽい泡立て器の名前。
- 【いとおやおーお】 なんかの遊びの名前。ちっちゃい子が何人かで遊んでる。
- 【いすつえやうび】 2025年に初めて人間が宇宙人の声を聞き取ることができた時の宇宙人が発していた言葉。
- 【いなぼそん】 お笑い養成所に通う若手コンビ名。
- 【いにいに】 子供の握力くらい絶妙な握力で握る動作の反復をいうオノマトペ。
- 【ういおん】 ホラー映画の哀れみの声。
- 【うついど】 鬱々とした言葉を吐き出すための井戸。江戸時代からある。兵庫県の山奥にある観光名所。人気になったけど、いろんな自治体が真似してパチモンを設置した結果ブームが冷める。
- 【うづたば】 スライスした瓜を束にして作った魔除け。鬼が祓える。
- 【うのすぐち】 地方の駅の改札名。
- 【うみんすはぼ】 海辺にたまに流れ着いている透明な何か。
- 【うやもばず】 あるYouTuberの動画開始時の挨拶。
- 【えおへ】 アマゾンの方の少数民族の2000年前のこんにちほという挨拶。
- 【えけだこやのゆうね】 タコが入っていないいたこ焼き屋の店主。
- 【えけむもしや】 twitter用語。無断転載トレス模写自作発言など、全ての悪を行うある意味猛者のこと。
- 【えしくてきう】 シベリアのある部族が狩猟を終えた後に行う儀式。
- 【えずぐはつ】 痛いこと。
- 【えずへまおも】 一万年後アイスランドに現れる妖怪宇宙人。
- 【えぼにもい】 森の奥にある集落に伝わる根菜類の煮物。
- 【おすばつをうち】 お留守番してくれる小人のようなロボット。
- 【おたよぬ】 お頼み申すの略。
- 【おちつけ】 日本のある地方で使われる、髪の毛を落とすための道具。
- 【がいふあぢゆ】 ぎゅんぎゅんやかましい音のなる銃型の男児向けおもちゃ。

- 【がうのぐ】 インドのカレーを作る時に入れる調味料の一種。
- 【がおせしぬ】 新流行語「やばい」とほぼ同義。
- 【かおのぼぼ】 顔に付いているほくろの中で、とくにかわいいもの。
- 【かがかえ】 かけがえのないエモさの意。今ではおじさんしか使ってない。
- 【かたかぶち】 武者が身につけていた兜の御前用の名前。
- 【カヂエフィ】 印象派の隠れた巨匠。印象派の中ではマネと画風が似ており、実は仲良しだったらしいとの新説も出ている。モネのことが嫌い。
- 【かづちお】 クラブのバイトが退勤するときの挨拶。
- 【かつづお】 身のしまったカツオ、一級品カツオのブランド名称。
- 【がづぶも】 豪雪地帯で好んで食べられている、さまざまな野菜が混ざった漬物の名前。
- 【かてかぶせ】 落とし蓋のような料理器具。蓋以外の使い方も多数ある点が主婦たちの間で支持を得ている。
- 【かなびく】 昆虫が死の間際に悲しくてぴくつく行動。慈悲はない。殺虫スプレーを即剤に吹くことがセオリ。
- 【かにきほ】 名産のカニについて特集した地方の小冊子。
- 【かぺいいや】 カポエイラをするときにいずれ用いられることになる威嚇の掛け声、転じてヤンキー言葉へ。
- 【かまび】 蒲鉾美術大学の略称。
- 【きーやいお】 遊園地のキャラクター。宇宙から来たアザラシという設定。八重歯が特徴。
- 【きがすゆ】 若者言葉。くな気がしたが実はそうでもない時に使う。
- 【ききえぎす】 黒板を爪で引つ掻いた時みたいなきな音で鳴く鳥。
- 【きなうはび】 マリトツツオに続く新しい流行の食べ物。
- 【きなまにぎ】 ほとんど握られていない、失敗したおにぎりの状態を指す方言。
- 【ぎにきよへぼかす】 漫画家。2006年デビュー。2017年のインタビューで本人から女性であることが明かされる。
- 【きのねものきのぬ】 淘汰されて忘れ去られた日本の伝統的家庭料理。木の根を薄切りにしてしゃぶしゃぶにする。ぶっちゃけ美味しくない。
- 【ギヒストヌ】 古代イギリスの彫刻家兼科学者。
- 【ぎほんふ】 古代中国の王様。
- 【きめーぶば】 一生に一度、自分が一番幸福な時に目の前に現れる天使。一緒に幸福を喜んでくれるがこの名前を聞くと？ってなるためその後この出来事が記憶に残ることはない。
- 【ギユカマ】 北欧の猪狩りの手法。
- 【きんむよ】 タイで最近流行っているボードゲーム。
- 【くいぐぜ】 世界一硬い枕。

- 【ぐぎばてじいす】 学生4人組の youtuber。たまに歌とかも出す。
- 【ぐたぼん】 ゆたぼんに影響を受けた小学生 youtuber。
- 【くみまゆ】 子供用食器。離乳食の頃のやつ。
- 【くみゆの】 地下アイドルの楽曲制作者。
- 【くよかね】 インドで古くから伝わる揚げ菓子。初めて歯が抜けた時に出される。
- 【げちさぎ】 わかりやすい詐欺。
- 【げっしくど】 俳句で使われる秋の季語。
- 【げぬーよち】 美味しくはないけど作るのが面白くて楽しい系のお菓子の名前。
- 【けはあのおお】 あるアマゾン熱帯雨林の中で暮らしている民族の挨拶用語。
- 【げばええぜえ】 沖縄県で古くから伝わる歌の名前。「ちゃんと家まで帰ってこれますよ
うに」という祈りの側面を持つ。
- 【げへかあか】 ある電荷。
- 【こうちは】 挨拶、こんにちはの意。
- 【こがち】 秋の気候の名前。将来の秋は今と違う。
- 【こしびえ】 タレント長濱浩二のタレント名。
- 【こなあすじ】 デスノートの迷信の道具、明日の筋書きを書き込む。
- 【こねのいほ】 米の銘柄、買いやすい価格帯。
- 【こねば】 幻といわれた南米の果物。しょっぱい味がする。
- 【ごびおつばわつづ】 ゲームキャラのセリフ。ネットミーム。
- 【こほもつむ】 幼稚園児〜小学生の間で流行している宇宙をモチーフとした小動物型の
キャラクター。
- 【うみん】 5L ぐんぐん小やこトナリ。
- 【うむよ】 2008年に連載がスタートし2010年には不人気のためあっけなく打ち切りにな
ったバトル漫画に登場するキャラクターの語尾。主人公と多く関わりがあるわけでは
ないが、語尾が特殊なことから人気投票では何故かランクインする。また活用が多く存
在する。「〜むよる」「〜むよらしい」。
- 【こめうふよ】 地方のお土産。お米のお菓子。
- 【ごもす】 ごもつともですの略。
- 【こよきまねやみ】 電波系アイドルユニットのメンバー。本人曰く、名前の発音は「ま
にやみ」が正しいらしい。
- 【ごおお】 中国語のおはよ。
- 【さげのわ】 知恵の輪の反対、知能指数を下げる幼児退行グッズ。
- 【ごうぶじ】 古くから続く由緒正しい寺。標高2000mの山の上にある。
- 【ごごみけ】 ロシアで品種改良された三毛猫。
- 【さすゆひ】 京都の老舗旅館。
- 【さだちーね】 茨城の方言で「来世でまた会いましょう」。

- 【さべーじぢみ】 偶然できたいい感じの染み。表記揺れ有り(ぢ、じ、し)。
- 【ざまへんよ】 「お前ざまあないな」の意。
- 【しききほ】 新型エアコン。四季を選んでその温度を選択できる。
- 【じけいぬ】 ある地方では換毛期の犬をこう言う。
- 【しなーっぱ】 昔の山口県辺りの方言で「しょうがないから帰ろう」という意味。
- 【しゃあみいか】 新しいみかんの品種。収穫の時からすでに冷たくて冷凍みかんっぽい。
- 【じわでゆ】 温泉みたい。
- 【じんひか】 「仁」と「光」という名前の男性二人組からなるアイドルユニットの愛称。正式名称は長いのでファンの間ではこの名前で呼ばれることが多い。
- 【ずとゆぼ】 オタクの口から思わず出てしまう言葉。
- 【すめびささばどうす】 干物とかが漬け込まれた酸味が強い酒。
- 【ずも】 かわいいキャラクター。ぬいぐるみとして売るべき。
- 【すやーごん】 NHKの新番組に出てくる水色の恐竜のキャラクター。
- 【ずわたも】 九州の一部地域に展開するスープ。
- 【せいくのう】 京都の山奥にある寺院で行われている儀式。人間にまわりつく邪気を払うことを目的とする。
- 【ぜおよお】 方言。意味「でもさあ」。
- 【せぞしや】 江戸時代詐欺代行をやっていた今はなくなってしまった職業。
- 【せだくくね】 汗だくになる程暑い時に友達に共感を求めて言う若者言葉。
- 【ぜつねじ】 じわじわと掲載順位をあげているジャンプの作品の略称。
- 【ぜなにでし】 売れかけ漫才師の youtube チャンネル。今年が勝負。
- 【せむうに】 ムニムニするほど大きな背脂、ラーメンなどに入れる。
- 【せめついで】 ギリギリ炎上しない攻めたツイートのこと。#せめついで投稿されたツイートの大抵晒されている。
- 【せよくよさむぼ】 とある未開民族のポリシー。なんくるないさ的な。
- 【そか】 そば唐揚げの訳。とある大学の学食メニュー。
- 【ぞかほーじ】 輸入品なので届くのに2週間くらいかかる、鎮静効果がすごいと話題の保湿クリーム。
- 【そかめみう】 Twitter フォロワー2.6万人の。パパ活暴露系アカウントだが最近ほぼ案件ツイートをかかない。
- 【ぞじとぬふ】 寒い地域で遭難した人々にしか見えない「三途の川へ行きますか？」なぞと聞いてくる妖精。
- 【そとごなぢ】 沖縄の方言で「外面だけの人間関係」という意味。
- 【そとのみど】 窓の外に思いを馳せる様子を表す夏の季語。
- 【ぞよほもほ】 毛の長いものが顔にたくさんついて窒息しそうな時に使う言葉。
- 【だえべー】 2178年オリンピック公式マスコットキャラクターでべその狐。

【たおえは】 頭の悪い若者言葉。「例えば」の意。

【だおさお】 奄美大島で発見された新種の魚、長さ30cmほどの細身の魚で刺身にしてよく食べられている。

【たごまぐ】 卵と胡麻のグミ。不味い。

【たさそかす】 とある地域の料理のサシセソみみたいな。

【だねねぶ】 耳たぶのマッサージで体の全てのコリを取るといいう新しい手法のマッサージ器具。

【だひゆ】 感嘆を表す若者言葉。口語ではない。

【たぶし】 私のオリジナルお菓子。

【ちいけ】 沖繩弁で「良いね」の意。

【ちうやし】 「(いや、)違うから」というニュアンスを割と強めに伝える時のどっかの方言。

【ちおめい】 女性アイドルグループのシンメ。口を聞かない時期を乗り越え、今は互いに認め合っている。ブログにツーショはあまり載せない。

【ぢじこま】 東北地方の家庭料理。魚の練り物をカリカリになるまで焼いたあと塩をかけて食べる。砂糖醤油で食べる家庭もある。

【ぢしゃこつ】 しゃこを使ったスナック菓子。人によって好みが別れる。

【ちでおへおーたびふか】 ちでおへおー家→代目将軍。∞代目のたびふみの跡取り。

【ちぬどき】 縄文土器によく似た見た目の土器。血沼(血液と沼)で作られている。

【ちひへちぼつ】 膝の裏にできる出来物。

【ちぺ】 巷で流行り始めているスイーツの名称。チーズがふんだんに使われているらしい。

【ちむしな】 悲しいこと。

【ちゅよい】 2037年JK流行語ランキング第4位「強い」という意味。

【つあそ】 どこかの国の国家試験。

【つけそや】 つけ麵のつけ汁だけ出す店。まず最初に匂いだけ楽しんで飲むのが通の食べ(飲み)方らしい。

【つごやとほ】 足ぐきってなって階段から落ちかけた下校途中の少年が発した言葉。これを聞いていた周りの行人は→週間この言葉が頭から離れなかった。

【つこんぢえ】 苦いけど飲んだ後は喉が甘いお茶。

【つぜうぼ】 イライラするけどしょうがない、という気持ちを表すギャル語。

【つちうゆか】 2032年に出る新しい米の名前。

【づにぜい】 6年ほど熟成させて作る発酵食品で非常に旨味が強い。

【つばざくゆ】 新しい帽子の型の名前。頭を守る構造。

【つぼけけ】 ゆるい感じの健康管理アプリ。

【づよやわよもん】 日本古来の文様。長野県からのみ300万点以上出土している。

【でえち】 気が小さい人。

【てぎ】 はなちゃんが表示したペグを打つときの音のこと。

【てきやに】 対立していても心は一つ、という意味の古語。

【てくきゆ】 テクノロジー急速発展の次世代。

【てこめ】 化粧品。手のひらにとるから。

【てせぐせ】 各人の手の癖に応じた、手だけのマッサージサービス。

【てにごむい】 テニスプレー時、リストバンドで額の汗を吹く行為のこと。

【でぬす】 木になる幻のパン。木の実の味がする。

【てめざゆひ】 東ヨーロッパで煮込み料理を作るときに使われるお玉のような道具。

【でもきい】 ギャルの反論が始まる合図。

【てゆう】 蚊が血を吸うときの音。いつも憎まれるから音だけでも可愛くしようと努力した結果。

【てよをぼう】 子供が泣き始めに泣きながら言う文句。

【といおび】 楽器屋さん置いてあった小人用の木製楽器の名前。月明かりの下演奏会が開かれるらしい。

【とうひお】 北欧の童話の主人公トウヒオ。

【どおぬぶ】 おおぬぶの、より威力の強いもの。

【どおしまび】 相談サービス、「どうしましょう」とだけ応える。

【とおびな】 沖縄に古来から伝わる民族弦楽器。

【とーぼゆ】 お風呂が沸いたことを他の人に一斉に伝えること。

【どおわうし】 三重県で販売されている銅製の（犬の）胴輪を着けた牛の置物。

【とくうちべ】 小さい頃によく遊んでた近所の子の呼び名。今は他人。

【どごも】 最新の携帯電話会社。マスコットキャラクターはタケノコもモチーフにしてる。

【とだぼびぬき】 稲刈りの時に田んぼに足が埋まらないようにする道具。

【どどてこそばいぬ】 江戸発祥の移動屋台式そばの名称。その屋台の音から名前が取られてる。

【どどめじ】 あるお寺。

【どぼねふし】 菌。気候が穏やかで海の近い地域で発見。

【なせよーぼ】 牛乳で作ったプニプニした食べ物。

【なとぼすじ】 真っ黒でドロドロしてるけど超美味しい郷土料理。

【なねあ】 人に聞く前に自分で思い出せるメモアプリ。

【なやみい】 ご飯食べながら「美味しいけど眠いなあ」ってときに使う言葉。

【なよぎーに】 ユーチューバー。

【にーはけ】 膝カクンするときに、自分の膝につけておくフサフサ。これをつけておくと相手は体勢を崩しつつもなんか気持ちいい。

- 【にお】 香水の名前。表記はアルファベットで。
- 【にこてわむ】 タバコ推進協会が制作したゆるキャラの名前。昨今のタバコ廃絶の動きに対抗するべく若者向けに作られたが、ウケはいまいち。
- 【ニポ】 アフリカ人は初め、日本大陸のことをこう呼んでいた。
- 【にやふ】 偽Yahoo 検索エンジン。
- 【ぬえこへ】 海外の植物の名前。咲く花が貧相な見た目をしているがいい匂いがする。
- 【ぬえや】 最近発売されたごはんのふりかけの名前。海苔系。
- 【ぬしてび】 池に住み着く妖怪に襲われそうになった時に唱える呪文。妖怪の言葉で許しを乞う意味があると言いつたに聞かされている。
- 【ぬでいへう】 アメリカで販売されているクマのぬいぐるみ。腹部にガムが入っていて、腹を割いて取り出す。
- 【ぬひゆき】 マスコットキャラクターとそれを展開したグッズ群。抱き締めると気持ちがいい。
- 【ぬやみ】 人の負の感情から生まれる妖怪。
- 【ねーめぶぶ】 粘り気のある食べ物で眼精疲労に効く。
- 【ねていしゃ】 2099年発売の高価なシーシヤ。
- 【ねぼ】 寝坊のネット用語「ねぼした」。
- 【ねゆねて】 目を閉じるとまぶたの裏に見えるやつ。
- 【のいべうぼ】 通称…べうぼ。夏場のクーラー症対策につかわれる便利グッズ。
- 【のつつよせぶ】 ヨーロッパで売られている高そうなチョコレートのお菓子。
- 【のつほめ】 西陣織を作る際に行う工程。製品の質に大きく関わるので熟練者にしかできない。
- 【のにきすほい】 ゲームの名前。ルールはUNOに限りなく近い。最後の一枚になると「のにきすほい」と言わなければいけない。最近ではタイトルの「のにきすほい」が先行して、噛んだらグイという理不尽飲みゲーとしても人気を誇っている。
- 【のにすば】 どの場所か。
- 【のひなぼにお】 男性だと思われがちだが実は女性の2008年からTwitterをやっている美麗系イラストレーター。
- 【はうみはー】 白い狐みたいなふさふさの動物。体長が2cmしかないため存在に気づかず潰しそうになる。ごめん。
- 【ばさび】 居酒屋の裏メニュー。鶏の手羽を生で食す。おろしポン酢が合う。
- 【ばぜんは】 結婚式で流すと縁起が良いとされる香り。
- 【はぞ】 リュックにつける付属品でおやつを入れるためのもの。
- 【ははおなか】 毛布のブランド。母のお腹の中にあるような安心感。
- 【はひあ】 サプライズさせたい時に使うオノマトペ。
- 【ばへっぢめ】 頑固なおばあちゃんが焼き上げたおせんべい。とても硬い。

【ばみせととせ】 二人組のアーティスト。カスタネット担当とタンバリン担当から成り立つ。

【ばめこ】 お笑い養成所に通うピン女芸人。コンビを組むつもりはない。いなほさんと仲良し。

【はゆいもみ】 マッサージ屋さんの名前。明るいおばさんとかが経営してそう。

【はよなぞ】 短めのなぞなぞがいっぱい乗ってる本。結構売れた。

【ばんふほ】 IHヒーターの製品名。日立製。

【ひいぜえ】 ヒイってびびったということを少しカッコつけて言い合う若者言葉。

【ひーやえげ】 方言「日が落ちる前に帰ってきな」みたいな意。

【ひきぺんくさし】 とある民家で起きた殺人事件で被害者が書き残したダイイングメッセージ。当時、親友だった草史さんが疑われたが無罪だった。真犯人は未だわかっていない。

【びぐぬむ】 ちっちゃい魚の名前。可愛い顔して鋭い歯を持つてる。

【ひこうそこほ】 空中散歩が可能になるウォーキングシューズ。

【びそー】 電車に乗った時電話が鳴り始める現象のこと。誰かの発した言葉が元。

【びつえやむ】 妖怪界のアイドル。新曲の「むやつ」が妖つベランキングで「位になった。

【びばきねお】 二つ折りのアイスクリームを狂氣的に愛しているインフルエンサー。

【びばみたむ】 魚の目の周りの脂肪の呼び名。

【ひびちば】 昔ヒッピーだったーじじばばのこと。国分寺市街地に頻出する。

【びぺび】 最近出てきたギャルモデルの愛称。さんま御殿に出演したことをきっかけにバラエティーで引つ張りだこになっている。

【びやと】 新しいチャットサービス、ば行の文字を必ず使用しなければならない。

【ひをのや】 火の妖精が主人公の日常系ほのぼのアニメ。

【ぶああ】 赤ちゃん向けの楽器。かなり間抜けな音がする。

【ぶいはん】 体の一部位を触ること。犯罪。痴漢はぶいはんに含まれる。

【ぶうくゆうおね】 2013年に人間と宇宙人の共通言語が誕生、その言語の「ありがとう」という意味。

【ぶーゆま】 そこそこ売れてるアイドルの人気コンビ名。

【ぶえゆぶ】 馬鹿にしたい相手を煽るときに言う。指差しながら言うとう効果的。

【ぶおぴち】 月刊漫画雑誌「ちゃお」のライバル雑誌として2024年に登場。

【ぶがえさちめげつび】 お元氣ですか？の意味。

【ぶじたべばぼー】 NHKの子供番組。藤田とべバポーが夢の共演。三ヶ月で打ち切り。

【ぶそけう】 自家製の発酵食品が簡単に作れるキット。

【ふだほへ】 ふだんよりへボいの意。脱力しながら使う。

【ぶぬうゆう】 シリコンでできた豚の形のキッチン用品。潰すと鳴く。

- 【ぶのえぞすぢふまはん】 明日地面がやわらかくなってしまおうおまじない。
- 【ぶのにー】 最近リリースされたアプリゲーム。餅状のキャラクターを着せ替えて遊ぶ。放置するとキャラクターは溶けて死ぬ。
- 【ぶほうそめ】 日本古来の染め方。武の精神に則って行われる。
- 【ぶみどま】 簡易的な日本式玄関。キャンプなどで靴を並べたりするのに使われる。
- 【ぶよつど】 ゲーム内の案内役キャラクター。ぬいが人気。
- 【ふよへゆ】 扇風機的一种。空気循環に役立つ。
- 【へあおん】 四テレの定番組に出てくるキャラクター。
- 【へあよ】 どっかの国で喧嘩してる時によく使う相槌。
- 【へうおぼこ】 へうとおぼこの2人組 YouTuber。プレゼント企画で炎上した。
- 【へうちぬ】 村の長老が、村人に初孫が生まれた時に作る文房具。
- 【へおおが】 新種のポケモン。飛行タイプ。
- 【へこじぼ】 最近ヨーロッパで発見された古代遺跡に書かされた文字みたいマークを beko と命名する。
- 【べつぢ。へむえ】 便座に敷く温かいカバー。
- 【へとえぢむ】 ロシアの子どもだけが見る悪夢。26歳の誕生日になるともう一回夢に見る。
- 【べにじ】 「ベリー虹」の略称。
- 【へぬよ】 女の子が座った時に聞こえる効果音。
- 【べやよきぶく】 インドネシアにある駅の名前。
- 【ほえてじび】 高級な店に出てくる中国料理。
- 【ぼおゆゆ】 中国から輸入されてヒットした楽器のおもちゃ。
- 【ぼがどぼ】 ジャマイカの英雄。火事の時、中に居た子どもたちを救ったことで一躍有名に。
- 【ぼぐまーゆあ】 一種のサツマイモの名前、九州地方で栽培されている。
- 【ぼせのしや】 何か生物の視野。
- 【ぼだーゆ】 多国籍料理のレストラン。わかりづらい立地。
- 【ほだびだ】 徹夜明けに飲むと心身共に回復する薬。
- 【ぼつよの】 戦国時代の殿様が敵の頭首を見て放った一言。自叙伝から引用。
- 【ほてむくばげ】 鳩時計の中からたまに出てくる鳩じゃないレアな鳥。
- 【ぼびこし】 姿勢を綺麗に保ちつつ筋トレができる医療用コルセット。
- 【ぼぶばお】 アメリカ最先端の髪型。美容院で1日半かかる。
- 【ホモットー】 ペルーに生息するモルモットとハムスターの間をとったような小動物。
- 【ほよし】 ヨット屋。
- 【ぼわとせ】 間接照明の名前。ふわふわと幻想的な光かたをする。
- 【まおーぬ】 最近バラエティでよく見るタレント。

- 【まこへぞい】 戦後ロシアから北海道に来た外来種の植物、「雑草」として扱われている。
- 【まざえず】 ご飯と混ぜて食べる食物酢。いろんな味がある。
- 【まつへやくべ】 薬草を入れる専門容器。
- 【まぬぬうん】 地上アイドルのあだ名。
- 【まぶあね】 チェコの民族衣装のベルト。職人が心人しかいないので技術伝承が課題。
- 【まめんよが】 豆とか入ってる郷土料理。ちよっと甘い。
- 【まゆけすぐべし】 夜中に眉毛につけながら寝ると、朝には眉毛が艶々になってる。眉毛のトリートメントバック。
- 【まんよ】 子供向け万葉集。
- 【みえゆうは】 デンマークの伝統料理器具。
- 【みおかねつぐ】 あるある系の一人コメントを投稿している女性 YouTuber。
- 【みごおささ】 200年後のパソコンの起動音。
- 【みしうかう】 3つ角をもつ暴れ牛。
- 【みみとえ】 長い耳のかわいいキャラクターの名前。
- 【みむげむ】 食べれる輪ゴム。子供に大人気で友達の上にシュートする遊びが流行ってる。
- 【みむびてとん】 肉まんの最終進化。豚をおにぎりで包んだ肉まん。完全栄養食。
- 【むつぐつぱ】 9人限定のグッパードで分かれるやつ。
- 【むづふき】 露の一種で、紫色の葉が特徴。
- 【むまとそび】 結び方の名前。着物とかに使う伝統的な結び方の一つ。
- 【むもやや】 鶏のもも肉とむね肉を合わせた加工食品、またはその専門店。
- 【むやで】 「無理そうだけど頑張ってみる、でも責任は負わない」という意味。
- 【めいゆし】 ぺあおんの妹、わがままそうな妖精キアラ。
- 【めおびひ】 日本の古代神話に登場する夫婦の神。
- 【めこゆく】 深海で50年後に発見されるクラゲ。
- 【めにずゆえ】 和歌によく出てくる単語で泣いているのを隠すために使う「目にゴミが入ったので」的言い訳。
- 【めはつつば】 目鼻立ちがハッキリとした好みのイケメンを指す隠語。Twitterの婚活界限で使用される。
- 【めやせぼい】 キノコ。東南アジアを中心に亜熱帯、熱帯域に分布していて食用として好まれている。
- 【もえどへもうえやざ】 相談サービス。「もうどうでもええわあ」と咽び泣かれる。
- 【もおべ】 程よい酸味と甘味が特徴のモンゴルの駄菓子。
- 【もなたへゆて】 「勘弁してー」を聞き間違えた平田さんが発した言葉。
- 【もぶぬい】 2178年オリンピック公式マスコットキャラクター藻が生えたたぬき。
- 【もやほそ】 「もやしみたいに細い」の略称語。人の悪口としてネガティブなイメージ。

がある。

- 【やいさばき】 漁師が魚をとるときに使う日本伝統の技法。
- 【やえがう】 イヌ科の動物。見た目はヤギに似ている。
- 【やおててうこ】 モンゴル極東に伝わる舞踊。居住地を移動する際に祈祷の意味で踊る。
- 【やこしん】 地方の信用金庫。
- 【やなみお】 波が澄んで穏やかで透き通った青がよく見える様子を表す単語。
- 【やにちぬ】 元気のない沖縄の人のこと。
- 【やねえこち】 めっちゃ伸びるアイス。
- 【ゆきよなじ】 疲れた友達同士が寄り掛かり、支え合うこと。
- 【ゆこかこ】 小学生双子タレント。
- 【ゆによかばほさ】 詩人。
- 【ゆねつび】 中学生の間で流行っているゲーム。ゆびスマの派生系。
- 【ゆのおげ】 凍らせた髪のお湯に浸けて霜を生み出す技。
- 【ゆもとさな】 3DSの恋愛シミュレーションゲーム「今恋サンセット」に出てくる幼馴染キアラ。
- 【ゆをふちゅま】 ぬれ煎餅みたいなふすま。濡らすことで部屋の湿度をいい感じに調整してくれる。未来的な和室にぴったり。
- 【よぶどせう】 宇宙にあるまだ未発見の星。
- 【わおよ】 ランニング短パン姿のおっちゃんがよく言う。唐揚げが目の前に置かれた時によく聞かれる。
- 【わかんと】 「わかんの」の進行形。
- 【わねえとけ】 おばあちゃんしか使わない方言。意味は「おはぎあるけど食べてく?」。
- 【わぼとき】 竹で作った和風の時計。
- 【わぼやぞめ】 長野県に伝わる染料を使った染めの一種。
- 【わむお】 次の漫画のタイトル。
- 【んおほび】 ある試練を乗り越えた魔法使いだけが使うことの許される呼び名。

2022年9月23日

武蔵野美術大学基礎デザイン学科

オートポイエーシス論にて生成